

第六 昭和十五年春

一、汪精衛遷都國民政府承認以後、支那事變解決
ハ該政府ヲ育成強化シ重慶政權ヲ併合消滅セ
シムルコトニ依リ其ノ目的ヲ達成ト得ベク之
ガ爲南京政府、育成ニ能フ限リ、援助ヲナス
ト共ニ重慶ニ対シテハ各種ノ壓迫手段ヲ加強
シ蔣政權ノ衰滅ヲ企圖スルヲ要ス
二、右施策ニ必然的ニ事變ノ長期化ヲ伴フベキニ
鑑ミ對支政策ハ日滿支ヲ一環トスル經濟ブロ
ックヲ強化就中華北資源ノ開發取得ヲ重視ス

0373

ルト共ニ華北蒙疆、対ソ作戰準備ノ為、戰畧
基地的諸施策ヲ強化スルヲ要ス。

三、対重慶壓迫ノ作戰的ニハ益々活潑短切ナル作
戦ヲ續行スル外大規模ナル地上進攻ニ代ナル
二、航空機ニ依ル不斷ノ進攻ヲ實施シ且經濟封
鎖ヲ強化シ重慶ノ衰滅ヲ圖ルト共ニ歐洲戦局
獨ニ有利ニシテ佛ノ降伏英ノ敗退セルニ乘ジ
援蔣經濟路線タル膠州灣佛印ニルマヨリスル
外援補給輸送ノ遮断乃至ハ監視並ニ租界ヨリ
スル物資流出ノ封鎖ヲ強行スルヲ要ス。

0374

四、然レ共重慶、抗戰ハ元來米國、援助ヲ絶對信
頼シマシト國民抗戰意識亦強烈ニシテ利、汪
政權、樹立ニヨリ重慶ヲシテ却ツテ益々反動
的抗日ニ向ハシメタルモノアルヲ以テ前号諸
施策ハ重慶ニ對シ相違、混乱ヲ與フベキハ固
ヨリ明ラカサルベシト雖モ之ニヨリ直ニ抗戰
放棄ヲ導入シ得ルノ算甚シ。

0375